

複数の花崗岩山地における水文観測

Hydrological observations at multi granitic mountains

内田 太郎^{1*}, 田村圭司¹, 浅野友子²

Taro Uchida^{1*}, Keiji TAMURA¹, Yuko ASANO²

¹土木研究所, ²東京大学農学生命科学研究科

¹Public Works Research Institutes, ²Graduate School of Agricultural and Life

斜面水文学の分野で、古くから対象流域法を用いて、流域の場の条件の違いが、流出現象に及ぼす影響が検討されてきた。例えば、古くは伐採試験など、流域の植生に注目した研究が数多く行われてきた。さらに、地質が違う源流域の水文観測結果を比較するなどし、地質の違いが、流出現象に及ぼす影響を検討した研究が数多く、1990年代以降を中心に行われてきた。その結果、山地の流出現象は、地質に強くコントロールされると考えられてきた、一方で、植生や地質が同じ場合、流出機構が同じか?という問題に関する検討はそれほど多くない。植生、土壌、土地利用、地質による違いを明らかにする方が、論文化するのが容易で、類似性を強調した場合、論文化しにくいことも、これまで、地質が同じ複数の流域で比較研究が十分に行われていない一因であると考えられる。そこで、今回、複数の花崗岩山地（広島県広島西部山系、滋賀県田上山地、岐阜県貝月山）における、水文結果を分析し、地質が同じ場合、流出機構が同じ（類似している）か?という問題について考察を行った。

キーワード:山地源流域,流出現象,地質の影響,類似性,花崗岩山地

Keywords: headwater catchment, runoff generation, bedrock control, similarity,, granitic mountains